

## 林内ワサビ栽培の収益性

### まえがき

ワサビは日本料理には欠かせない食材であり、業務用、家庭用に広く用いられている。

ワサビというと、大方の人は沢沿いの畳石のある栽培方法を思い浮かべるが、近年は「陸(おか)ワサビ」と称して、畑や林内で栽培するケースが増えてきた。

陸(おか)ワサビ栽培は、従来の沢ワサビ栽培に比較して、(1)適地が広範にある。(2)築田等の多大な設備投資がかからない。(3)栽培に要する労力が比較的少なくすむ。(4)間伐後の林地の空間を利用して栽培すると、中間の副収入源となるなどの利点があり、全国各地で、作付面積が増えてきている傾向がみられる。

そこで、これから栽培する人々の参考に、県内の林内ワサビ栽培の事例をもとに、収益性の検討を行ったので報告する。

### 1. 栽培法の要点

苗は実生苗と株分け苗があるが、ここでは栽培を始めてみようという人を対象に考え、苗は購入するものとした。植付けは、春植えと秋植えとに分かれるが、一般に秋植えが多い。

陸(おか)ワサビでは、夏期の高温や乾燥による被害が大きいので、直射日光の当たらない湿気が多くて排水の良いところに植付けるのが良い。

大子町の例では、粘土質で水排けが悪いため、苗は活着したけれども根系が育たず、結局全量枯損したところがある。

林内栽培では、まず、上木の間伐と枝打を行い、通風と適度の陽光を入れるように条件を整えることが必要である。

苗の植付け本数は、10a当たり2,500~3,000本が適している。

出来れば、施肥を行えば生長が促進される。基肥を重点にし、おもに有機質肥料を使用する。

育成中の管理は、除草、また病害と虫害を未然に防ぐために、年3回程度定期的に薬剤散布を行うことが必要である。

収穫は、植付けしてから1~2年後に行う。根茎の大きいものを収穫したい場合は、2年どりを原則とする。

株を掘り取り、水洗い後、株を大、中、小に分けて調整する。陸(おか)ワサビは主として、漬物等の原料として加工業者に販売する。

原料ワサビは静岡地方では、上芽(じょうめ)、山苗(やまなえ)、クキに分けて出荷する。

林内ワサビ栽培でも、沢ワサビほどではないが、品種を選び、適正管理を行えば、生ワサビとして出荷可能な大きな根茎を産出することがある。その場合は、生ワサビとして箱詰めにして市場出荷すればよい。相場によっても異なるが、キログラム単価は、さきの原料ワサビの約15倍程度になる。

生ワサビの場合は、とくに品質による価格差が大きい。また、品質が一定以上ならば、大きさによって価格差が生じ、根茎の大きさが倍になれば単価もほぼ倍になるといわれている。

### 2. 収益試算の結果

林内ワサビ栽培の収益試算を示すと次表の通りである。ここでは、全量、原料ワサビで販売するものとした。県内でワサビ漬を加工しているところは、大子町の「八溝ワサビ生産グループ」の一事例を数えるに過ぎないが、まとまった量が確保出来れば、県外のワサビ漬、山海漬加工業者に持ち込みか、クール宅急便を用いて販売することになる。市場出荷だと、葉ワサビは単価が安いうえに、少しでも供給過剰になると値崩れが著しい。問題は、いかに安定した販売先を確保するかにある。

さて、収益性だが、林内ワサビ栽培の場合、10a当たり、収穫期に達したワサビの株が2,600本とすると、1本当たり0.35Kgの収量が見込めるとして原料ワサビ販売量では819Kg、キログラム当たり販売単価400円で、販売額約327千円になる。

一方、これに要する生産費は自家労賃まで含めると約312千円になり、販売額から生産費を差し引いた純収益は約15千円となる。生産費から労賃分を差し引いた経営費を求めると、約182千円となり、販売額から経営費を差し引いた所得は約145千円となる。

所得率44.4%、1日当たり労働報酬7,268円となり、県内農林業地域の賃金水準にほぼ見合った額が得られ、林内の副次的利用の産物としては、他のミョウガ、フキなどに比べて、この収益性は良い結

果となった。

生産費の構成をみると、コストの約40%が労働費で、つぎにワサビ苗の購入費が約30%を占め、この両費目で全体の70%程度に達する。そして、労働費では、ワサビ苗の植付け作業とワサビ収穫作業の占

める比率が高い。

以上、収益性の検討結果から、林内における複合作物としてワサビ栽培は、所得面でも有利であることが判った。

(主任研究員 林 公彦)

林内ワサビ栽培の収益試算 (10a 当り)

	金額	算出基礎
粗 収 益	327,600円	ワサビ漬加工業者ないしは練りワサビ加工メーカーに販売した場合 (持込販売) 原料ワサビの収穫量 (葉、茎、根) ワサビ苗 2,600本×0.35kg = 910kg 製品歩留りを90%とすると 販売量 819kg 販売見積額 819kg×400円 = 327,600円
生 産 費		
1. 苗木購入費	91,000円 (29.2%)	ワサビ苗 2,600本×35円 = 91,000円 (静岡県産ダルマ系 : 90%、島根県産 : 10%)
2. 農薬費	3,300円 (1.1%)	病虫害防除 年3回実施 DDVP乳剤ほか 3本×1,100円 = 3,300円
3. 労働費	130,000円 (41.6%)	栽培対象林分の整地、植付け準備 5人×6,500円 = 32,500円 ワサビ苗の植付け作業 5人×6,500円 = 32,500円 除草、薬剤散布、散水等管理作業 3人×6,500円 = 19,500円 収穫、水洗、選別、梱包作業 7人×6,500円 = 45,500円
4. 出荷経費	65,520円 (21.0%)	包装資材費 Kg当り10円×819kg = 8,190円 輸送運賃ほか Kg当り70円×819kg = 57,330円
5. 燃料費	5,460円 (1.7%)	重油、ガソリンほか
6. 施設、機械、減価償却費	16,970円 (5.4%)	スプリンクラー (ワサビ園10a 割当分) 3,650円 (5年耐用) 動力三輪車 ( " ) 1,800円 (5年 " ) チェーンソー ( " ) 1,720円 (5年 " ) 動力噴霧器 ( " ) 1,510円 (5年 " ) 保護柵設置 ( " ) 8,290円 (10年 " )
合 計	312,250円 (100%)	
純 収 益	15,350円	純収益率 4.7 %
所 得	145,350円	所得率 44.4 %
1日当り労働報酬	7,268円	
製品1kg当り生産費	381円	

注) (1) 栽培期間は2年間

(2) 大子町林内ワサビ栽培事例に基づいた試算